

思い出に残った草履とり



下諏訪北小六年

小森

日咲 ひさき

私は今回の御柱祭で、騎馬行列の草履取りをやりました。御柱祭に参加するのは二回目ですが、草履取りなどの役をやるのは、初めてでした。

練習は、二月から始まって、週三回ありました。所作はいろいろな動きがあつて、覚えるのが難しく、覚えてもまちがえてしまうこともありました。できるようになるまで何度も練習し、本番を迎えることができました。

本番の熊野神社前で行った騎馬落としては、坂道でやったこともあり、所作の途中で殿様が奉納する間、ずっと同じ体勢でいないといけないのがすごく大変でした。でも、草履を上上げる時、高く上げててもキャッチをすることができて大成功でした。

今回の御柱では、一生に一度しか味わえない貴重な体験ができて、とても良い思い出になりました。



子ども長持ちに参加して



下諏訪南小六年

井川

月葉 つきば

今年も、七年に一度の御柱祭がありました。毎年小湯の上の小中学生は、お舟祭りの前になると長持ちの練習をして町内を練り歩きます。

でも、今年も御柱だったので、町内や、二区全体、御柱の里曳きと、三回長持ちを担ぐことができました。

長持ちで私が一番頑張ったことは、長持ちを大きい声で節回しに注意してやること。そして、甚句は高学年にならないとできないので、つえの動かし方などかっこ良くできるようにしました。

本番は、四ツ角の一番の見せ場で、甚句を担がせてもらいました。前棒を友達と意気を合わせて担ぐことができ、とても良い思い出になりました。

大勢の人の声援が励みになり、最後まで頑張ることができました。

七年後の御柱にも、積極的に参加したいと思います。



「活 力」



高校三年 名取 ともよ

「諏訪の湖水を 鏡にかざし 雪で化粧する 富士の山」
これは、私が一番好きな長持唄だ。高校三年生の今年、長持ちを始めて十一年になった。幼い頃には分からなかった歌詞の意味も、だんだんと分かるようになってきた。

小学生の私の目に映る大人の長持ちは、法被の背中に書かれたように「粋」で格好良く、観る度に心が躍った。そして、とりわけ女性陣が魅せる女長持ちの華やかさには、心から憧れた。私がそんな大人の長持ちに参加するようになったのは中学生の時だ。自分に申し掛かる重さを苦しく感じることもあるが、笑顔で担ぐ先輩方の姿や、そんな皆さんと長持ちができる喜びに支えられて、今も練習を続けている。

正しい所作で美しく担ぐには、まだまだ時間がかかるだろうが、諦めずに試行錯誤を続け、いつかの私が憧れたような担ぎができるようになりたい。そして大切なこの空間を未来にも残していきたい。



母たちの笠踊り



高木 高木 和子

平成二十二年、前回の御柱の際、友人に誘われたのをきっかけに、高木長持保存会の笠踊りメンバーとして参加することになりました。高木区内の友人の集まりですが、それぞれに家庭をもち、母親としての立場がありました。子どもを連れて練習に参加したり、家事を済ませてから練習に向かうなど、母としては忙しい状況でしたが、同じ立場の友人らと集まり、いろいろな情報を交換しながらの活動は楽しいものとなりました。

十人程度と人数は少なかったのですが、衣裳を決めて細かい装飾品を手作りしたり、創作ダンスの内容を検討するなど活動を重ねる中で、母親同士の連帯感は強まり、まとまりのある個性的な踊りを披露できたと思います。母親となっても地区の団体に所属することで、個人としてはなく、同じ世代の仲間と楽しい時間を共有し、平成二十二・二十八年の御柱祭パレードでは良い思い出を作ることができました。



地域の宝「御柱祭」



下諏訪南小学校 河西 敏夫

「いやあ、力をく合わせて、お願いだあ〜」七年に一度の御柱が行われる今年の四月、南小の始業式では、木遣りで一年間の願いを確かめ合って始まりまりました。

上社地域に育ち住む私にとって、下社のお膝元下諏訪町の御柱祭は、前回に引き続き二度目の経験となりました。

前は北小にお世話になっていました。山出しで木落し坂を氏子の皆さんと下ったことや、「北小おんばしら」をPTA・地域の方と力を合わせて実施したことが忘れられない思い出になっています。

今回も山出し・里曳きの両方に参加させていただき、前回と



はまた違った発見をし、新たな思いをもつことができました。一つ目は、木遣りに唄われている「協力一致でえ〜」に込められている意味の深さに改めて気づかされたことです。

御柱を曳くため、多くの曳き子が繰り出していましたが、人々の心と力を一つにするため元綱衆・梃子衆・追い掛け衆・木遣り衆が、それぞれ分担当した役目を精一杯果たしている姿を



目にすることができました。また、「私は、お客様の接待で御柱を見たことがない。（町内在住の本校職員）」という声に代表される多くの「おもてなし衆」のお陰で御柱は動くのだった。

二つ目は、次代を担う子どもたちに活躍の場が与えられ、子どもたちが生き生きと参加していた御柱祭であったということです。

山出しでは、小中学生たちも木遣り衆の一員として参加し、声の限りに木遣りを鳴いて御柱

を動かしている勇ましい姿を目にすることができました。

里曳きでは、下諏訪の街中で繰り広げられる三区の騎馬行列を始め各町内の子どもも長持ち、子どもも神輿、笠踊り、ドジョウすくい踊りなど、たくさんのお出し物の中に、大勢の子どもたちが生き生きと活躍している姿を見ることができました。

子どもたちは、きつと御柱祭を通して郷土に誇りをもつことができ、下諏訪町への愛着心が強まったことでしょう。

地域の絆を確かめ強められる御柱祭は、次世代へも確実に引き継ぎたい地域の宝です。



騎馬行列に参加して



下諏訪北小学校 小平 知行

「ぜひ、一区の騎馬行列に参加してみませんか」一区騎馬行列保存会の中村会長さんからそんなお誘いを聞いた時、「下諏訪出身でない人も伝統ある騎馬行列をやれる。ぜひ、参加したい」という思いが湧き上がってきました。

実は、私の故郷の飯田でも御柱祭と同じ年に大名行列が行われます。お練りまつりです。小さい頃見たことがあります、自分がやってみるなど、思いもありませんでした。

さて、二月から練習が始まりました。私の役は長柄槍でした。細長く、一見大したことはない



ように思えましたが、実際に持つてみると、とても重く感じました。さらに、槍の端を右手のひらに乗せ、柄を右肩で支えてみると、鎖骨に当たりとても痛かったです。「まっすぐに立てることなんてできるだろうか」と不安が脳裏を横切りました。そんな私を励ましてくださったのは、御騎馬のみなさん、とりわけ奴のみなさんでした。

「なんとかできるのではないかな。」そういう見通しが持てたのは、練習もひと月が過ぎた頃でした。しかし、「一番大変なのが勢揃い。」と周囲の人が言うので、詳しく聞いてみると一日かけて一区中を練り歩くとのこと。やっと数時間ならできるようになった自分に、そんなことができるのか全くわかりませんでした。

朝から快晴となった四月二十九日。六時に明新館へ集合し、奴の衣裳を身にまきました。すると、恥ずかしくない所作を披露し、みなさんに楽しんでもらいたいという思いが高まりました。

まずは出陣、騎馬の出です。馬に乗った殿様が入り、全員が行列になるのは初めてです。緊張しつつも各地区で声援や拍手をいただき、とてもうれしかったです。それとともに、町の無形文化財である下ノ原騎馬行列を大切にされている思いが伝わってきました。

真っ黒に日焼けし、夕方ようやく明新館に帰ってきた時には、

やり遂げることができた満足感でいっぱいでした。

五月の下社里曳きでは、氏子のみなさんだけでなく、大勢の観光客が見守る中で、所作を披露することができ、晴れやかな気持ちで感じました。

下諏訪町無形文化財という伝統ある一区下ノ原騎馬行列に参加できたことは、一生の宝です。そして、このような機会を与えてくださり、全く初心者だった私が、長柄槍をやり遂げることができたのも、御騎馬のみなさんのおかげです。本当にありがとうございました。



北小で学ぶ子どもたち



校舎の前を流れる五兵衛せぎ



二十周年記念、思い出のブロック道



母子像に
見守られて



せぎの水が池を作り、池の周りでみんなで遊ぶ



校長先生とはお友だち



水泳の季節、プールは楽し



みんなが楽しみ、読書の時間



～年輪を重ねて～



明るい音楽室で
思いきり歌う



英語学習は
NLTの先生と



おかいこさん
決断のとき

大きく育ったみどりの木かげ、
ヒマラヤ杉を見ながら広庭へ



今年は北小おんぼしらの年

フォークダンスは元気の源!!笑顔の輪!!



小松 志津子 (下諏訪フォークダンスクラブ代表)

下諏訪フォークダンスクラブは、4年前に発足し、現在12名の会員で毎週火曜日の午後例会を行っています。会員は憧れの華やかな民族衣裳に身を包み、ステップ軽やかに笑顔で楽しく世界各国の民謡を踊り、いよいよ輝くシニア世代を謳歌しております。

フォークダンスは適度な運動や頭の体操になり、若さ健康を維持し、また会員相互の交流親睦が生まれ、仲間の輪(和)ができました。今では、芸能祭での発表やイベントへの参加、体験講座の開催など、フォークダンスのPRや募集活動も行っています。

若かりし頃、中学や高校の文化祭で胸キュンの甘酸っぱい思い出のフォークダンス。マイムマイムやオクラホマミキサー、コロプチカ等は、今でも踊られている名曲です。他にも楽しい各国の踊りでの世界旅行です。フォークダンスでいつも元気。健康保険に貢献しましょう!

大勢の仲間と手をつなぎ笑顔の大輪を!クラブの合い言葉です。男女を問わず、どなたでも一緒に踊りの輪に入りませんか?公益社団法人日本フォークダンス連盟公認指導者が優しく楽しく指導しています。

*常時会員募集中。連絡は、0266-27-2846、090-1866-9838 (小松連絡先) まで。

男性合唱団「シルクハット」

濱 寛 (シルクハット会長)

シルクハットは、熟年男声合唱団として、平成6年の下諏訪町民音楽祭で初舞台を踏みました。全員カラオケ出身で、「オタマジャクシはどうもね。」というメンバーでのスタートでした。

以来22年、「楽しく歌おう」をモットーに歌い続けてきました。ですから難しい曲は苦手で、レパートリーは初期のころはグリークラブの定番曲、その後は叙情歌、世界のポピュラーソング、昭和歌謡などです。最近は島木赤彦の詞による曲も歌っています。

年間を通しての演奏機会は多く、町民音楽祭の他に、諏訪市コーラス祭、長野県合唱フェスティバル、赤彦記念文学祭、諏訪湖博物館ロビーコンサート、日赤ロビーコンサートなどがあります。今年は他に慰問コンサートを3回行いました。

練習は毎週木曜日夜7時からセイコーエプソン企業年金会館ゆうむ25で行っています。指揮の宮下荘次郎先生は冗談がお上手、我々のレベルに合わせて、楽しく指導をいただいています。団員募集中です。和気藹々^{あいあい}の練習会場に是非一度お出かけください。

*連絡先 0266-28-6775 (濱) まで





としょかんまつり2016



きてね

10/29 (土) 30 (日)

きてね

家族みんなで楽しめる企画満載！ぜひこの機会に図書館にいらしてください。
恒例の古本市は11月5日(土)～6日(日)におこないます。

29(土)



時間

9:30
10:00

9:30～

展示

- ・俳句
- ・エンジョイ
フォト
SUWA
写真展
- ・諏訪木鶏
クラブ

10:00
～
12:00
体験
しよう
朗読
点字

10:00
～
12:00
こども
俳句
教室

10:30～11:30
ジェリービーンズ
コンサート
小学4・5年生の
バンド演奏
マジックショー
下諏訪マジック
愛好会



15:00～16:00
雅楽と朗読のおくりもの
・下諏訪中学校雅楽会 演奏
・やまびこの会の朗読「よだかの星」
・諏訪木鶏クラブ朗読

30(日)



10:30
～
12:00

おはなしの広場
北小1年生の劇
社中生による
大型絵本読み聞かせ
星の会の朗読
お話し部の部屋
人形劇
「キャベツくん」

10:00
～
12:00
体験
しよう
朗読
点字

9:30～

展示

- ・俳句
- ・エンジョイ
フォト
SUWA
写真展
- ・諏訪木鶏
クラブ

11:00

12:00

13:00

14:00

15:00

16:00

14:00～15:20
ブックカフェ
下諏訪Bookプロジェクトの子
どもたちのおもてなしカフェです



15:30～16:00
やしまるくん万治くんと
記念写真を撮ろう



問い合わせ先 下諏訪町立図書館 0266-27-5555

十月のこゝろ

「初秋の候」

秋は、心を穏やかに豊かに満たす季節でもあります。

さて、「秋」には、いろいろな秋があると思います。「食欲の秋」、「スポーツの秋」、そして「読書の秋」など……。そんなたくさんある秋の中で、今回は「読書の秋」をテーマにひとこと！

町では、毎月第二日曜日を「家庭読書の日」とし、親子一緒に本に親しむ機会を推奨しています。

読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め創造力を豊かなものにし、生きる力を身につけていく上で欠くことのできないものであると思います。

すがすがしい秋空の下、さわやかな風を感じながら親子で読書に親しみコミュニケーションを深めてみてはいかがでしょうか。

そういう自分も、忙しさを理由にゆっくり本を読んだこと、いつだったか思い出せないほど。そういうことで今年の秋は、日暮れの早まりを感じながら、「食欲の秋」、おいしいつまみとお酒の誘惑に負けることなく、読書に親しんでいけたらと思っています。努力義務とならぬよう！

(高橋 良司)